



女の性衝動が  
男を越えた未来とは

# リビドゥー オーバーラン

LIBIDO OVERRUN

添牙いろは illust 兎丸ゆゆ

DOJIN  
R18  
成人向け

18歳未満の  
購入・閲覧禁止



すべては私が悪いと言い切れる。

彼氏に黙ってこっそり合コンに紛れ込んで、

その場で意気投合した男子とラブホで一夜を共にして、

当然、致して。

うちのサークルの後輩も参加していたのだから、もう少し自重すべきだった。

でも。

初めて出逢った男のコは、ちよつとカッコイイ感じで、

そんな彼ときり気なく触れ合うのは、本当にドキドキして、

酔っているのを自分への言い訳にして。

バレないように気をつけるどころか、周りの人たちから冷やかされちゃうくらいだ

つたものね。

そういえば……先週にサークルの部長と寝たのも勘付かれてたっぽいし。

だから、彼氏は——同席していた後輩からの連絡を受けて、その出入り口で張っていた。

サービスタイムが終わる頃合いを狙って。

弁解の余地もなく、その場で破局。

だけど——

一番好きなのは、やっぱり彼氏だから。

もつと一緒にいたいし、えっちもしたい。

それで、原チャで走り去っていく彼氏を懸命に追いかけたんだけど——  
痛みはなかった。

あったのは、一瞬の恐怖だけ。

飛び出した十字路で、振り向いた先から迫ってくるのは大型トラック。  
ああ、死ぬなあ、って。

だから——

もし次に目を開けることがあれば、間違いなく地獄だろうと思ってた。

けれど。

# リビドーオーバーラン

女の性衝動が男を越えた未来とは

添牙いろは

そこは明るくて、どこまでも真つ白だった。

天井も高い。

かといって天国のような華やかさもなくて……ただただ、無機質。

私が横たわっているのはフカフカの寝台。でも、ベッドというよりSF映画に出てきそうなカプセルの中にいるみたい。

その丸い屋根は、半分くらい開いている。なら、出ていいのかな。

全身グシャッとイクような事故だったにもかかわらず、私の身体には傷跡ひとつ残っていない。現代医学に感謝しつつも、一体どれだけの期間眠っていたのやら。

とはいえ。

治療のために脱がされたらしく……私、素っ裸なんだけど。

普通、病衣みたいな着せるもんじゃない？

こんなカツコじやトイレにも困る。

ナースコールとかないの？

部屋を確認するために、私は身をもたげてみる。すると――

「……うえ」

思わず声が出た。

別に気色悪いことは何もない。

ただ、あまりにキツチリしすぎて、異様だっただけ。

同じようなカプセルが、サッカーのグラウンドほどありそうな広間に寸分違わず整列していた。

蓋が開いている物もあれば、閉じている物もある。

ただ、ひとつ言えるのは——現実離れしすぎてない？

さつき、SF映画に出てきそう、ってゆったけど、この光景はむしろ映画そのもの。

それで……夢なのかな、とも思えてきた。

もしくは、あの世かも。

地獄に堕ちて当然だと覚悟はしていたけれど、どうにも地獄な感じはしない。

だから私は、台座から降りてみた。

幸い、他に起きている人もいないみたいだし。

裸で診療するんだから、こっつて女性棟か何かよね？

自由に出られる雰囲気だったし、だったら出ていきなり怒られることはないはず。

とはいえ……狭い個室ならともかく、こんな広いところを全裸でフラフラするのは、ちよつと緊張するな。

カプセルたちの隙間をまっすぐ端まで歩いていくと、端の方の出口はすぐに見つかった。そこへと辿り着いてみると……

プシュー

「ひゃっ!!」

ちよ、ちよ、ちよ……っ！ いきなり開かないでよね!! 出会い頭に誰かと鉢合わせたらどーすんのよ!

思わず壁の陰へ飛び退いてみたものの、運良く外側には誰もいなかった。さて。

改めて廊下の様子を窺ってみたけれど、そこにも人の姿はない。なんだか、逆に怖くなってきた。

無人の牢獄のような場所に閉じ込められているんじゃないかって。だから、耳を澄ましたとき――

(……オーライオーライ……)

(……ナイツシュー……)



や……やば……間違いなく、男のコたちの声だ。ここって女子フロアじゃなかったの？

とはいえ……

うう……人がいることだけは確認しておきたい……。

もしかしたら、男子だけでなく、女子もいるかも、と期待して。

それに、女のコがこんなカッコでうろついてたら、心配もしてくれるよね？ ついでに、ここがどこなのか教えてもらえるかもしれないし。

と、いうことで。

恐怖とか羞恥とか色んな感情を渦巻かせながら、私は声のする方へと近づいていく。

さつき出てきたところ以外に扉はない。

何にもない。

身を隠すことなんてできようもない。

それに、通路も通路でやっぱり無機質。白くて四角いチューブの中を歩いているみたい。

十字路に差し掛かったところで一旦立ち止まる。そして、顔だけだして、左右をき

ちんと確認。ああ……ここつてもしかして、体育館みたいところかな。キュッキュ、つてゴム底が床を鳴らしたり、ドムドム、つてボールが叩きつけられる音が聞こえてくる。その開け放たれた扉の向こうから。閉じてなかったのは幸運だったかも。あれなら、中に気づかれないようにこっそり覗くことだってできるよね……？  
というところで静かに忍び寄り、そっと身を乗り出してみると――

「!？」

あ……あれ……？ 私、目がおかしくなったのかな？

思わず来た道を引き返しちやっただけ……えーと……えーと……うん、もう大丈夫。落ち着きを取り戻したところで、改めて再確認を。

「ドンマイドンマイ！」

「。バスパス！」

んー……中のコートには男の子が複数人いて、バスケをしているところまでは認識できた。

でも、ちょっと詳細まではよくわからない。

なので、息を整えてから、もう一度。

「……………っ!？」

う……………ウソでしょ……………？

確かに、男の子たちがバスケしてるけど。

歳は、間違いなく年下。毛も生え揃ってない雰囲気。

だけど……………ちゃんと、生えるところは生えてるんだねえ……………

なにせ、みんな私と同じカッコで試合してるから。

可愛いお尻をフリフリして。

飛び跳ねるたびに、おちんちんもブルンブルンして。

チーム分けは、腕章の色でしてるみたい。多分、アレがゼッケンなんだと思う。

だからといって……………!

「ハア……………ハア……………ハア……………」

ちよ……………本気……………？ 顔はここからじゃよく見えないものの、体型は細身ながら、

みんなスポーツマンで肉付きがいい。動きはイマイチもつさりだけど、肌色の前では

すべてが不問。

「やば……………やば……………やば……………やば……………」

あんまりジロジロ視<sup>み</sup>姦<sup>み</sup>てるってバレちゃいそうだけど……………うわっ、うわ……………ホントに

全員全裸だよ……………! 男の子と男の子が素っ裸で……………くんずほぐれっ……………♥ あ、い

や、そっち方面は興味ないけど、絵面としてやばいって……！！

チラっ、チラっ、と何度視姦直しても、そこにあるのは可愛い男の子たちの裸乱舞。こんなのもう……天国じゃん……！！ 地獄どころか天国だよ！

こっそりジーっと男の子たちを視姦し続ける二十二歳の不健全オナナ。ごめんねボクたち。でも……うっわあ……こんなの、AVでだって見れないでしょ！

とかなんとか張り付いていたら……

ドン、ドン、ゴロゴロ……

わ、わ、わ……ボールがこっちに転がってくる！ バレないように廊下で息を潜めてみるも……

ゴロゴロ……

「……あ」

開きっぱの出入り口に向けて、転がるボールはホールインワン。向かいの壁にぶつかって見事私の足下へ。思わず手に取っちゃった。

そこで……男の子とついにご対面。

「う、うわあっ!!」

そりゃあ驚くわよねえ……いきなり素っ裸の女が立ってんだもの。恥ずかしいか恥ずかしくないか、っていったら……ホントは超恥ずかしい。

でも……

まだそんなに大きくもないし？

ウブそうだし？

男の子だって裸だし？

てか、みんな揃って裸だし？

何より……とんでもないほど大当たり!

眉は整ってるし、明るい茶髪はサラサラだし、鼻は高くてすっきりしてる。瞳は優しげで、いくら見つめ合っていても飽きが来ない。

視姦し続けて夢心地になっていたからか……堂々と、イジワルしてみたくなっちゃった。私はボールを返すことなく、むしろ自分の背中に隠す。もうおっぱいもお股も丸見えだけど、男の子もおちんちん押さえて恥ずかしそうだからお互い様ね。

うわあ……モジモジ俯いて……可愛い、可愛い……可愛い!

「ボール返してあげない、ってゆったら……どうする?」

無理矢理奪い取ろうとしてくるのかなー、って思ったたら……!!

「こ、困ります……」

はいっ、こんなのイタズラ決定!

可愛すぎる、可愛すぎる! あー……もう我慢できない!

ボールなんてほっぽりだして、私は男の子をぎゅーっと抱きしめる!

そして、チュク……ってキスまでしちゃったり!

だってだって……可愛すぎるんだもの!!

「ん、ん……んふう……」

ああ……抵抗しないんだね。抵抗しないってことは……シちゃっても、いいんだよね……? ね……?

「ねえ、おっぱい触りたくない? もっと、女のコのところも……♥」

絶対好奇心旺盛な年頃だし、すぐにでも食いついてくると思ったのに、一周回って恥ずかしさが勝ってるみたい。

「そっ、そんなこと……!」

あ、そうなんだ。なら……むしろ、私が楽しませてあげちゃお♪

「なら、お姉さんが舐めてあげるね」

「えっ!？」

驚く男の子の顎のところまで頭を下げて、小さな乳首を……チュツチュツチュ♥  
「あ、あっ……だめ……だめですう……」

すごい！ 男子がこんな声出してるの初めて聞いた！

「やっ、ああ……こんなの……んん……っ」

舌先でペロペロしながらも、もう片方も指先でクルクル。……あは、おちんちん、  
勃起おきくなっちゃったね♥

皮がかぶつてるところを優しく剥いてあげて、コス、コス、コスって戻したり引つ  
張ったり。

「ん、ん……もう……やめてください……」

あー……無理矢理襲う男の気持ちがちよつとわかったわ。こんな切なげに懇願され  
たら……最後まで犯し尽くすしかないじゃん！

男の子の膝を裏からグイって引っ掛けたら、バランスを崩して簡単に倒れた。それ  
で体育館の中が見えたんだけど……もうバスケットはしていない。多分、チームメンバー  
が襲われてるのに気づいて逃げちゃったんだと思う。でも……助けなんて呼べないよ  
ね？ こんなところで、全裸バスケットしてた方が悪いんだよ！

「それじゃあ……お姉さんの女のコで、おちんちん気持ちよくなっちゃおうね…

…♥  
」

徐ろに男の子に跨ると……さすがにこれからしようとしていることは知ってたみたい。  
い。

「で、でも、僕……まだ〈学校〉も卒業してないのに……」

あとのことなんて気にしなくていいんだよ！ だってもう、夢だか現実だかわかんないんだから！

「いーのいーの♪ いまは……気持ちいいことだけ考えてれば♥」

これから訪れる快感を思うと、胸のドキドキが止まらない。こうして男の子と裸で触れ合っているだけでこんなに気持ちいいんだもの。だったら、どこまでも気持ちよくなりたい！

それからのことはやることやってから考えよう！

だって……やりたいんだもの！

騎乗位って、男を支配してる感があつて意外と好きだったりする。自分の好きなところに当てられるしね。

そんなわけで、遠慮なく……皮を剥きながら腰を落としていけば……ふ、ふふ、  
わたし

臆の中でちっちゃなおちんちんが一生懸命お勃起おきくなってる♪ さっきの様子だと



初めてつぼかったし……ここは、お姉さんがセックスの素晴らしさを教えてあげよう！

私の膣内ナカは触る必要がないほどにもうビチョビチョ。女のコのお肉でおちんちんを優しく締め上げて。だから、男の子を根本に引き下げながら、女のコで……キュツキュツキュ

「あ、ああ、お姉さん……お姉さん……っ！」

わあ……そんなに悶えて……ホントに女の子みたい。こんな悦び方してくれるのなら……お姉さん、頑張っちゃおう♥

「どう？ どう？ お姉さんの……おまんこは……？」

皮の内側をズリズリされてるんだもんね。刺激だつて凄いはず。

「き……気持ちいい……です……」

そ、良かった♥

「お姉さんも、キミのおちんちん、気持ちいいよ♪」

本当はもつと長い方が好みだけど。でも、こんな健気な反応を魅せてくれたら、勝手に締まってきちゃうって。

だから、男の子も堪らなくなってきたみたい。

「お姉さん……ボク、ボク……熱あつくなってきた……!？」

うわあ、射精イクそうなのかも。こんなふうに言われたの初めてだからとっても新鮮。「我慢しないでいいんだよ？ お姉さんの膈内ナカで……射精だしちゃっていいからね？」毛も生えきつてない感じだから、精通もしてないのかな？ いや、生え始めてるのならマズイのかも。どっち……どっち……？

もし受精キたらどうしよう……。ナマで……避妊もせず……薬も飲まず……

安全日だって、ここまで堂々と受精ウけ止めはしなかった。

でも、絶対気持ちいいんだろうな、つてのはわかる。

だから……楽しむすぎて……ああ……こんな子供チンチンで……絶頂イクそう……っ！  
「お姉さん……ボク……っ！」

ビュルッ！

「あっ、ああっ！」

射精でてる！ 私の膈内ナカで……びゆるっ、びゆるっ、びゆるっ、つて……いっぱい……  
……いっぱい……あったかい精液モノが……

後先考えるとヤバイことしてるな、つてのはある。でも……あはは、もーどーでもいいやー……。だって、天国だか地獄だかわからないおちんちんカーニバルだったん

だよ？ 現実的なこと気にしても仕方ないじゃない。

射精を終えて緩くなったおちんちんを、ズルつと引き抜いてみた。そしたら……ト  
口ト  
ナカだし  
膣内射精……ヤバイな、これ。こんな快感知っちゃったら……もう、ゴムあり  
膣外射精じゃ満足できないかも ♡

「ご、ごめんなさい……ボク……」

あーあ、しよげさせちゃったわ。でも、さすがにこんな子供に責任取れー！ とか  
言わないって。

「いいのいいの。お姉さんが気持ちよくなりたかったただけなんだから。でも……みんなには秘密だよ？」

上から退いてあげると、男の子はフラフラと起き上がる。そして、通路の向こう側  
へヨタヨタと逃げていってしまった。その背中はずよつと気の毒で……うう、悪いこ  
としちゃったかもー。てか、逆だし悪いことなんだろうけど。

私もなんか身体だるいなー、って思ったら……そっか、絶頂たばっかだったっけ。  
こんなヤリ捨てのようないないし。

壁にもたれかかって一息ついたところで……じつとこちらを見ている視線に気がつ  
いた。さっき私が曲がってきた十字路の方。てことは、私と同じように……？

半分くらい顔を出してきたところで、女の子だつてのはすぐにわかった。それで、ニコッと微笑み返してあげたら……ひええ。予想はしてたけれど、全裸で出てこられるとやっぱビビるわ。もしかしてココ、裸がユニフォームな施設なの？ だつてあつちの女のコ、どう見てもあんなことしそうにない雰囲気だし。穏やかなおかつぱもよく似合っていて、どっちかというところと和服とか着てそう。なのに……素っ裸とはねえ……。そのキラッと光るヘアピンも、かんざしみたいで可愛いのに。

歳は多分、二つか三つくらい下で、首からネックレスを下げてる。腰にはガーターベルトみたいのを巻いているけど、ストッキングやパンツはない。これじゃあむしろ、短すぎるスカート？

だからもう、確信犯なんだろうなー、って思う。

確信的に、恥部を曝け出してるんだろうなー、って。

かくいう私も全裸だから人のことは言えないけど。

何にせよ、ようやく話ができそうな相手に巡り会えた。

けれどやって来るなり、私よりも先方から声を掛けてくる。

「す……すごいですね……あんな小さな男の子から搾精しぼっちゃうなんて」

う。それを言われるとちよつと厳しい。とはいえ、表情や口調に責めたり蔑むような色はないので、純粋な尊敬として受け取っておこう。

「やあ……その……あまりにも可愛くて、つい」

照れて頭を掻いたくらいで許されることじゃないとは思うのだけど、女の口はクスクスと悪戯な微笑で返してくれる。

「その気持ち、わかりますよ。わたしたち、気が合うかもしれないですね」

あ、この流れ、新歓とかで友達になりたいパターンだ。本当に気が合うかは別として、いまはともかく現状を知りたい。

なので、こちらに乗っておく。

「かもうすねー。せっかくのご縁ですから……ちよつとどつかでお話しませんか？」

とはいえ、私は無一文だし、このコも……財布とか持つてる気配ないもんね。見るからに。だから、ロビーで駄弁るとか、そのくらいが関の山かなー、と思ってたんだけど――

「でしたら、一緒におちんぼ狩りに行きませんか？」

……へ？　いま……なんと……？

オンナ  
たぎる♀に

おびえる♂  
オトコ

乳を出そうが、尻を出そうが、  
女の身体は贅肉扱い。  
一方、成人向けコーナーには  
半裸の男優ポルノがズラリ——  
女が迫り、男があしらう、  
そんな世界があったとしたら……？  
価値観・身体づくり・社会システムに至るまで  
真面目に考えてみた物語です。

リビド〜  
男女の性衝動が反転した社会とは  
リバ〜サル

詳しくはWebで

<http://soekiba.net/rev/>



# 応援特区

# こづこは

—略してKKO問題—

老若男女の隔てなく、  
ただひたすらに成果主義——  
それが、地下研究所における唯一の掟。  
だが、研究員番号386——ミハルは  
不毛な研究の毎日に嫌気が差していた。  
そんな彼女に命じられたのは、  
地上を蝕む少子化問題に関する実地調査！  
ミハルが向かった先で虐げられていた  
金のない (Kanemonai)  
キモい (Kimoi)  
オッサン (Ossan)  
略してKKOを救うためにミハルが見出した  
ただひとつの希望とは——

詳しくはWebで

<http://soekiba.net/dystopia/>

地下深くに隔離されたその研究所に携わる者は  
例外なく去勢されている……はずだった。  
しかし、密かに施術を逃れていたその男は  
性の概念を忘れた女たちの性を目覚めさせ  
快楽によって支配していく。

欲望のままに己を突き通す天才科学者の  
卑猥な人体実験の目指す先は……？

子こ  
ごご  
づづ  
くり  
は  
実  
験  
室

詳しくはWebで

<http://soekiba.net/dystopia/011/>





アストロルリーズ 2

アストロルリーズ


テロリスト 迫り来る反逆者  
プリンセス 担がれる民間人  
そして... アホの子  
掻き乱す問題児!

兄は指揮官に妹は銃殺刑に

コミカライズ計画も  
全力で始動中!!

詳しくはWebで

<http://soekiba.net/astra/>



遺伝子操作によって先天的な才を作り出す『ハイクラス』  
薬学によって後天的に才を伸ばす『マイト』  
ふたつの主義主張は、破壊と暴力を伴い鋸迫り合う。

『マイト』に所属しながらも  
薬物を受け付けられない体質の少年・サカタは  
『ハイクラス』でも『マイト』でもない  
謎の少女と出逢い、そして――

315

—奪われた記憶—

詳しくはWebで

<http://soekiba.net/lossmem/>

露出少女と痴女の  
モラルなき戦い!

# 裸族忍者シリーズ

いつでもどこでも脱ぎたがる  
露出少女・埋竹礼菜  
大好きな男と子供を成すことに  
人生を懸けて迫ってくる痴女・鷹池。  
そんな三人に翻弄され続ける  
流され男子の痴情まみれの官能ライトノベル!



詳しくはWebで

<http://soekiba.net/ninja/>

DOJIN  
R18  
成人向け  
18歳未満の  
購入・閲覧禁止



うさぎさんごころ

セイ  
アイ  
アム  
ズ

食べて寝て

交尾する!

ついに訪れた  
家族の離散——  
生きる道を失い  
故郷である兎ヶ島へと  
帰ってきた里倉和兔。  
しかし、そこは——  
老若男女問わず誰もが発情し、  
異性を求める色情の地と化していた!  
裸の女の子たちに迫られて、  
最初は戸惑う和兔だったが、  
次第に住民たちの勢いに  
流されてゆく。  
しかし——

詳しくはWebで

<http://soekiba.net/sar/>

未知なる世界で  
どう生き延びる...?

それが彼女の  
生存戦略!

seizon senryaku

オトナ向けな  
番外編的短編集  
『それが彼女の  
性交戦略!』も  
こっそり公開中!?

学校が異世界に飛ばされた!?  
それでも見知らぬ大地の上で  
誰もが遅く生き延びてゆく。  
ある者は『力』で、  
ある者は『智』で、  
ある者は『心』で、  
ある者は『愛』で。  
そして……  
彼女たちは元の日常に  
帰ることができるのだろうか……!?

リユーカ編  
コミカライズ版も公開中!

詳しくはWebで

<http://soekiba.net/4girls/>

# 僕と私の 露出日記

The diary of Sleeping under the stars for Ours

自然の中で育ち、  
裸で野山を駆け回るのが  
好きな少年。  
非日常を求めて裸になり、  
その快感に  
目覚めてしまった少女。  
孤独に背德的性欲を  
膨らませてゆく二人だったが、  
ついに――

立派に  
育った  
露出癖

わたしとあなたの  
露出交換日記

スピンオフでも  
野外で全裸！

野外で裸に  
なりたい男と  
他人の痴態を  
覗きたい女。  
出逢ってはならない三人が  
出逢ってしまい――

詳しくはWebで

<http://soekiba.net/outdoor/>

いじめ  
 られっ子の  
 処方箋

正義の  
 投与の  
 行く末は

イジメの起きない  
 イジメ小説!?

イジメ撲滅運動——  
 とある高校で突如始まったこの騒動に  
 埋竹雛菊は意図せず巻き込まれていく。  
 しかし……  
 そもそも、イジメとは何なのか？  
 そんな疑問に突き当たる。  
 悩み抜いた末に、辿り着いた結論とは……？  
 そして、運動を取り仕切る  
 学級委員・雨弓来未の真の目的とは……？  
 イジメと向き合うすべての人に送る一冊です。

コミカライズ版 総集編第2巻  
 各配信サイト様より  
 好評配信中

詳しくはWebで

<http://soekiba.net/presc/>







セックス至上主義の世界！

そこは女中心の

西暦3021年

目を覚ますと…そこは全裸のイケメンだらけ!?  
性欲旺盛な女子大生・蘭は、逃げる男子を追い回し、  
欲望のままに押し倒しては抱き散らかしていく。

LIBIDO OVERRUN  
オバラン

空色書房

Sleeping under the sky